

ななお

NANAO CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

会議所だより

2021.10月号

No.610

<https://www.nanao-cci.or.jp>

[mail:office@nanao-cci.or.jp](mailto:office@nanao-cci.or.jp)



七尾商工会議所

検索



七尾商工会議所

検索



CONTENTS

- 七尾市との懇談会／建設業部会…………… 2
- 青年部だより／商業部会…………… 3
- N-As通信／のと・七尾共創塾…………… 4
- 飲食・観光関連事業者需要開拓緊急支援事業のご案内…………… 5
- 七尾の未来構想委員会インタビュー…………… 6～7

- 事業承継アンケート調査結果サマリ…………… 8～9
- 職域接種／ホームページ作成セミナー／ふるさと納税… 10
- 会員大会のご案内／年会費口座振替のご案内／
石川県最低賃金／商工会議所福祉制度キャンペーン…………… 11
- 渋沢栄一とその思想に学ぶ／行事カレンダー…………… 12

表紙写真：カキ漁、朝日とともに（中島町熊木）

七尾市との 懇談会



～地域経済活性化へ連携を確認～

当商工会議所は9月28日(火)、当所で七尾市との懇談会を開催した。七尾市からは茶谷義隆市長、脇田明義副市長、楠利勝産業部長、松崎建産業振興課長、一瀬明彦交流推進課長が出席し、当所からは、正副会頭5名が出席した。懇談会は、茶谷市長が就任して初めて開催され、大林会頭の挨拶に始まり、次いで茶谷市長が挨拶をし、地域経済の活性化について意見交換を行った。

七尾市からは「産業振興施策」について説明があり、七尾駅前を中心とする市街地の賑わい再生などについて意見を交わした。当所からは「七尾商工会議所の概要」について、「SDGsプロジェクト」について、「ワーケーションの取組み」について説明した。

意見交換では、なおSDGsコンソーシアムの発足にむけて連携を確認するなど、幅広い分野の意見を交わした。意見を交換した内容は右記のとおり。今後はこういう機会を持つことで連携が進展するよう、双方が努力することとし、今回の懇談会は終了した。

意見交換の内容

- J R 七尾線の利活用の促進
- 中小企業等の事業継続事業支援
- 共創塾の展開と連携
- 産学官金の連携
- パトリア4階多目的ホールの利用促進
- 観光、スポーツ、文化等を切り口とした交流人口の創出
- 小丸山城址公園の壁面の整備
- 市と経済界の合同新年互礼会



茶谷市長



大林会頭から賑わい創出の提案

建設業部会

入札制度の現状と課題解決に向けて！

～市議会2常任委員会委員長と意見交換を行う～

当所建設業部会（姥浦昭二部会長）は9月9日(木)、当所で七尾市議会2常任委員会委員長との意見交換会及び9月定例会を開催した。

意見交換会には、七尾市議会から総務企画常任委員会の杉木 勉委員長、産業建設常任委員会の木下敬夫委員長が出席され、当部会からは姥浦部会長、狩山・田村両副部会長など役員8名が出席した。

冒頭、姥浦部会長は意見交換会のテーマは、「地元業界事業者間の最大公約数的な意見として、①入札制度、②経審点数と業者のランク分け、③発注業者の区分け、④除雪及び緊急災害対策、⑤公共遊休施設の利活用」についてが取り上げる質問であると説明した。

最初に、田村行利副部会長から入札制度関連の①～③をまとめて論点として質問し、意見交換の出発点とした。

また、狩山副部会長から七尾の管工事事業者においても、入札制度については同様な問題点を抱いているとの意見があった。

次に、姥浦部会長から④と⑤について業界の考えと持論も含めて述べ、意見交換した。

引き続き9月定例会では、市議会の杉木・木下両委員長との意見交換を振り返り、地元建設業界が抱く問題・疑問について、概ね認識を共

有できたのではないかとまとめた。

また、令和4年度に向けた七尾市への要望について協議し、仕事を創りだすために公共遊休施設の利活用とのと里山海道（中島町地内）のゆずりレーン増設を提案として絞り込み、具体的な要望内容は、姥浦部会長の私案「七尾市の交流（流入）人口、移住・定住人口増進計画」を基本にして姥浦部会長に一任するとした。

なお、建設業部会の独自名簿「七尾市内の工事屋さん」（仮称）の作成については、継続して検討することになった。

最後に、8月に行った市役所幹部との意見交換会の結果も踏まえ、今後も問題・疑問の解消に向けて市への要望等で業界も結束して行動することを決めた。



地元建設業からの質問等で、杉木・木下両委員長と意見交換



青年部 だより

9月定例会 ポストコロナに向けた 積極的な事業とりくみのヒント

9月9日(木)、当所青年部(会長：瀬口功雄)は、9月定例会を開催した。今回は、コロナ禍ということもあり、研修委員会としては、初めてとなるZoomでの例会開催となった。

当日は、七尾商工会議所の中村アドバイザー、大岡

経営指導員をゲストに迎え今使える補助金のメニュー、補助金の申請書の書き方などを説明した。

今回の定例会で学んだ事を今後の補助金申請に役立てて行きたいと参加したメンバーは申ししており、有意義な定例会であった。

商業部会

市民を巻き込むロードマップ・アクション プラン・ビジョンを！

～令和4年度市への要望 駅前・中心市街地再生への組織結成と将来構想を渴望～

当所商業部会(久保晋部会長)は9月7日(火)、当所において第3回緊急役員会を開き、市への要望及び今後の活動等について協議した。

最初に、令和4年度に向けた七尾市への要望については、当部会の基本計画にある「駅前・中心市街地・商店街・コミュニティの場」を核とする視点からの現状認識が必要であるとした。

現状は、『七尾市の商業環境は、駅前中心市街地の賑わい低下や事業所の減少、後継者問題ほか、全国の地域経済社会が有する課題と同様に直面しているのではないか。』

一例として、今年7月下旬に駅前の賑わい創出の核となる複合商業施設パトリアにドン・キホーテが来店してオープンしたが、約1か月後には4店舗が退転している。更に、パトリア2階はテナント確保に至っていない現状がある。

また、パトリアは売場のみならず、地域の人々が交流する地域コミュニティを提供する「生活の場」としての原点的な機能も担っていたが、現在はその機能が低下或いは喪失してしまっているのではないかと認識を共有した。

そこで、このような現状認識を問題点として、今こそ商業環境を調査・分析・評価し、その実態を把握して、関係者や市民等が一丸となって取り組むことができる駅前や中心市街地の再構築及び再生のためのロードマップ(工程表)とアクションプラン及びビジョンが必要であるとした。

関係者や市民等ではドン・キホーテ、パトリアの各テナント、経済団体、観光団体、市内外

の有識者(生活者・消費者)、学識経験者(外部専門家等)を巻き込み、ビジョンではミナ、クル、商店街、能登食祭市場までも含む商業環境の将来のあるべき姿・将来構想である。

これらを総合した結果、当部会役員会では概ね次を要望するとして、久保部会長に一任し、事務局とで決めることで了承を得た。

- 1 『駅前を中核とする中心市街地再構築への研究及び提案する組織の結成』
- 2 『駅前・中心市街地再構築・再生へのビジョンの策定』

次に、今後の部会活動については、前回までの協議を踏まえ、改めてスケジュール感を確認し、市長及び市関係部署との意見交換会は11月下旬、セミナー開催は12月上旬を目途に、時機を見ながら前倒しで行いたいとした。

最後に、久保部会長は「ドン・キホーテの開業1か月後にどんな影響があるのか興味があるが、コロナ後の将来に持続するための共生・共存であり相互に利活用のあり方を模索すべきではないか。」としてこの要望を渴望する趣旨に理解を求めた。



コロナ後を見据えた令和4年度七尾市への要望について協議する

N-As(エヌアス) 通信

ななお経営支援センター (N-As)
ななお創業応援カルテット
石川県よろず支援拠点能登サテライト

七尾 (N) の明日 (As) の経営／経営のなやみ、なんでも、お手伝い

■ ななお経営支援センターに「中小企業むけのSDGs相談窓口」を開設

令和3年9月13日(月)、当会議所と、七尾市、能登鹿北商工会、のと共栄信用金庫、日本政策金融公庫金沢支店、中小機構(独立行政法人中小企業基盤整備機構)北陸本部は、持続可能な開発目標(SDGs)への対応を通じた企業の経営課題解決を支援するため、各機関にSDGs相談窓口を開設した。

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された17のゴール・169のターゲットで構成される世界全体の目標で、世界中の企業が、自社の企業価値向上と競争力強化につなげようとSDGsの達成に向けて社会課題の解決に取り組み始めている。

当県においても、中小機構北陸本部が7月5日に金沢市に開設したSDGs相談窓口には、すでに80件を超える相談が寄せられており、企業の関心が高いことがうかがえる。

今回、ななお経営支援センターは、上記記載の機関や団体と共に、当会議所内にSDGs相談窓口を開設することで、七尾市内の観光産業、飲食サービス業、製造業など様々な業種の企業が行う企業活動とSDGsに対する取組を支援していく。

SDGs相談窓口では、SDGsに関する専門家と、対面またはオンラインや電話で相談できる。相談は無料。利用にあたっては、原則事前予約が必要。



ご予約・お問い合わせ先

七尾商工会議所・ななお経営支援センター TEL 54-8888

■ ななおSDGs経営セミナー

日時 令和3年10月20日(水) 14:00~16:00

会場 七尾商工会議所2階 大ホール
【ハイブリッド開催】

内容 (1)基調講演「今後求められるゼブラ企業
～持続可能な企業の「SDGs経営」とは?～」
(2)「SDGs経営の導入方法について」
(3)「ななおSDGsコンソーシアム事業について」

申込方法 WEBまたはQRコード
https://krs.bz/jfc_seminar/m/kanazawa0310sbseminar



■ 能登SDGs市民大学開講式・第1回講義

日時 令和3年10月27日(水) 18:00

会場 七尾商工会議所2階 大ホール

内容 <SDGsに触れて感じる>
「SDGs de 地方創生」カードゲーム

今後の開催予定

【第2回】令和3年11月17日(水) 18:00~20:30

【第3回】令和3年12月16日(水) 18:00~20:30

【第4回】令和4年1月20日(水) 18:00~20:30

【第5回】令和4年2月17日(水) 18:00~20:30

【修了証書授与式】

令和4年3月19日(土) 9:30~12:00

申込方法 WEBまたはQRコード



受講生
募集中
!!

第1期 のと・七尾共創塾

能登のローカルなビジネスポテンシャルと最先端のDXを掛け合わせ、企業や再創業を目指す方等、皆さんの「のと・七尾共創塾」の参加をお待ちしています。

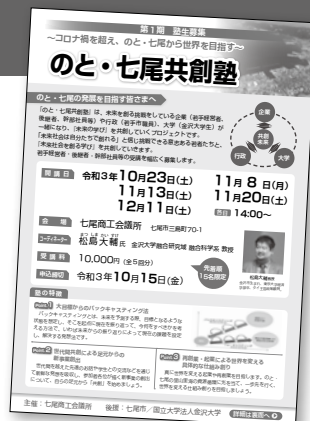
■ 申込締切 令和3年10月15日(金)

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

■ お問い合わせ先

のと・七尾共創塾事務局(七尾商工会議所)
TEL 0767-54-8888 FAX 0767-54-8811

第1回	10月23日(土)
第2回	11月8日(月)
第3回	11月13日(土)
第4回	11月20日(土)
第5回	12月11日(土)





飲食・観光関連事業者の皆様へ

飲食・観光関連事業者需要開拓緊急支援事業のご案内

コロナの影響が長期化する中、厳しい状況にある飲食・観光関連事業者の皆様を対象に、新商品や新サービス開発などにより、自ら需要を開拓し、業績の回復につなげる前向きな取組を幅広く支援します！

★公募期間：9月30日(木)～10月20日(水) 17時【必着】

対象要件

【組合・団体・グループや複数社連携も可】

❑以下のいずれも満たすことが必要です。

1. 業種要件【個別事業者、団体・グループ】

石川県内に本社又は、主たる事業所を有する飲食・観光関連（取引事業者等含む）の中小企業であること（※団体・グループの場合は、この要件を満たす2者以上で構成されること）

→具体的には、飲食店や旅館・ホテルなどの宿泊事業者と、その取引先が対象になります。

2. 売上高減少要件【個別事業者、団体・グループ】

令和3年4月～9月までの6か月間のうち、任意の1か月の売上合計高が、令和2年又は令和元年（平成31年）の同月と比較して、30%以上減少していること（※団体・グループの場合は、少なくとも2者以上がこの要件を満たすこと）

3. 事業計画策定要件【個別事業者、団体・グループ】

事業計画を策定し、新たな需要開拓（新商品・新サービス開発、販路開拓等）に取り組むこと

4. 代表企業選出要件【団体・グループのみ】

1者を代表企業として選出し、団体・グループ全体の進捗管理や調整、本補助金手続きの総括が行われること
△対象要件の詳細は、「公募要領」を必ずご確認ください。

補助額・補助率

類型	補助額	補助率
個別事業者	100万円	4/5
団体・グループ	200万円	4/5

補助対象

❑新たな需要開拓に向けた新商品・新サービスの開発や販路開拓、既存商品・サービスの新たな販売（提供）方式の導入などを行うために必要な経費

対象事業イメージと対象経費の例

【県ホームページにも「活用イメージ集」を公開しています。】

<飲食店>

●テイクアウト専用のリーズナブルで家庭的な惣菜メニューの開発

（補助対象経費の例：新メニュー開発費（試作費）等）

●移動販売車（キッチンカー）を導入し、出張販売を実施

（補助対象経費の例：キッチンカー導入費 等）

<宿泊事業者>

●稼働率が低い客室等をコワーキングスペースに転換

（補助対象経費の例：建物改修費 等）

<団体・グループ>

●複数の同業者が連携し、自社の商品を持ち寄ってセット商品として販売

（補助対象経費の例：外注・委託費（パッケージデザイン等）等）

△補助対象外となる経費もありますので、「公募要領」を必ずご確認ください。

スケジュール（予定）

○公募：令和3年9月30日(木)～10月20日(水)

○審査：令和3年10月下旬～11月下旬

○採択：令和3年12月上旬

○事業期間：令和3年9月2日(木)^{※1}

～令和4年2月28日(金)^{※2}

※1 補助事業に要する経費は、令和3年9月2日まで遡って補助対象としますが、審査の結果、不採択となった場合は、補助金は交付されませんので、ご注意ください。

※2 やむを得ない特段の事情がある場合は、令和4年3月7日まで延長することができます。

書類提出・お問い合わせ先

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地

石川県地場産業振興センター新館1階

（公財）石川県産業創出支援機構（ISICO）

産業振興部 新事業支援課

TEL：076-267-1145

★応募方法など詳しくは

⇒ <https://www.isico.or.jp/site/keiei/inshokukankou.html>



補助対象となり得る事業者の具体例

飲食関連	■飲食店 ■食品加工・製造業（惣菜製造、食肉処理・製造、水産加工、酒造等） ■器具・備品取扱業（食器・調理器具等の備品・消耗品取扱事業者等） ■流通関連業（業務用スーパー、卸・仲卸、問屋、貨物運送等） ■飲食品・器具・備品等生産業（農業、漁業、器具備品製造等） ■旅客運送業（タクシー、バス等） ■運転代行業 等
観光関連	■宿泊業（ホテル、旅館等） ■旅客運送業（タクシー、バス等） ■自動車賃貸業 ■運転代行業 ■旅行業（旅行代理店等） ■小売業（百貨店、土産物店等） ■イベント関連業（企画・運営事業者、出演者、設営事業者、器具備品取扱事業者等） ■文化・娯楽サービス業（ギャラリー、ライブハウス等）等

※上記に該当しない事業者は、飲食店や宿泊事業者との関連性、新型コロナウイルス感染症による影響の程度等を総合的に勘案して判断します。

お問い合わせ先

七尾商工会議所・ななお経営支援センター（七尾市三島町70-1）

TEL 0767-54-8888



森山奈美さん

「チャレンジする土壌づくり」

森山…今のようないかなる不確実性の高い世の中においては、解決しなければならぬことが多岐に渡り、これを行ったらあらに影響するといふ風に、それぞれが関わり合っている。複雑化したものを一つにまとめて表現するのは大変なことです。もう一つ、未来構想委員会が考えている構想だけが合っているわけではないということ。ある構想を提案した

プロジェクトがあり、それを見える化したいと思っています。
木下…なぜ、このプロジェクトにアワードを創設したかという点、何をやるにしてもお金はかかるものなので、頑張っている活動を資金面から支援したいという思いからです。例えば、市内のロータリークラブにもアワードがあり、毎年表彰が行われています。実際には、授与されたものの活動もしっかりと自分たちで行っていて、お金を貰ったからやる、または貰えないからやらぬというものではないということも分かっているつもりです。

森山…七尾のまちづくりは、自分たちでお金を出し合っているというのが考え方のベースにあります。大事なことは、集まったお金で活動が支援され、その活動が良くなることにより、まちが活性化し、またお金が集まる、そういう循環を作り出せるようになること。
木下…将来的には、集まったお金を基に財団を設立し、支援活動を継続していけたらと考えています。

としても、誰かが考えた未来像だし誰かがやってくれるということになりかねない。もっと当事者であること、自分たちで変えていけるという気持ちを持つことが大切なんだと思います。

木下…いろいろな未来を考えていく中で、委員会内でも一人ひとりに意見があって、プロジェクト一つ、まちづくり一つを考えてみて、もっと多くのいろいろな意見があるだろうし、行動している人もたくさんいるという話になったんだよね。

森山…だから100プロジェクトなんですね。自分たちが主体となり、見える範囲内でやっている活動が、実は元氣な七尾の未来を創っている。そういうチャレンジの多さや起こしやすさこそが、思い描く七尾の未来なんだろうと思っています。

木下…能登なのか七尾なのかも議論になったね。市町単位ではどうしても縦割りの問題があって広域連携を組みにくいし、そうするには時間もかかる。

森山…このプロジェクトの中にも、最初から能登を視野に置いているものもありますね。

吉田…最初から能登と名前を付けるのは簡単ですが、本当に実態を伴ったものになっていくかという点で難しい。自然にそうなるというのが一番良いと思うんです。七尾でプロジェクトを推進していく中で、自然に周りに向かって関係性が伸びていくのが理想なんだよ。

木下…ただ、エントリーに関しては七尾だけにこだわらずにやりたいと思っています。既存の七尾の活動も、これから起こってくる活動もある中で、県外の人が七尾のためにプロジェクトを作り出す可能性もありますから。

森山…こういうプロジェクトは、社会貢献的な側面が強いんですが、私は七尾の一つひとつの企業が残っていくことが地域にとって大切だと思っています。例えば、売上向上などの企業内プロジェクトがここに入ってきて良いので、ぜひエントリーして欲しいと考えています。



木下徳泰さん

木下…そういういろいろなチャレンジが集まることで「七尾って元氣なまちだね」と、七尾の人だけじゃなく、県内外の人にも知ってもらうことが大事だと思う。応募の際、分からないことがありましたらぜひ相談をしてくださいます。こちらからも良い提案がでると思っています。

「その先にある「未来会議」」

木下…現在七尾には、同じような活動を行っている人たちがたくさんいて、その中で、お互いをよく知らないことが不自信につながっていることもあるように感じます。プロジェクトが100もあると、同じような活動をしている人も出てくるはずですよ。

森山…当事者性が高いからこそ自分たちのやり方にこだわるといふことはありますよね。ただ、そうやって自分たちで話し合い、決めていくことは自治であり、その活動の継続につながる大切な考え方です。傍から見て同じものをやっているから一緒にやろうという話ではなく、それぞれに多様性があるってバラバラで良いんだと思っています。

木下…バラバラにたくさんある方が「おお、七尾って元氣だね」と見えるしね。

森山…この100プロジェクトも同じで、「この方針で行きますのでお願いします」と言われると、自分たちでやろうとしていたことがないがしろにされたみたいで、賛同してもらえないと思うんです。

木下…私たちも含め、お互いを知り、話をす

ることで、もっと良い形が見えてくるものです。将来的には、このプロジェクトを通して出会うたくさんの人が集まり話せる場所「七尾の未来会議」を開催したいと考えています。

森山…立場を超えて語り合い、気付いたことを持ち帰り、それぞれが考えて動く、そんな気兼ねなく安心して話せる場を作り出したいですよね。「こんなん言ったらダメなんじゃないか」と、みんなが気にして話せなくなるのではなく、「好きなこと言っても大丈夫」そんな土壌を作っていきたいんです。

木下…みんな七尾を良くしたいという思いは同じだからね。
吉田…委員会内では共有している部分なのですが、100プロジェクトの「100」には、100年後の未来というコンセプトもあります。小さなアクションを積み重ね、チャレンジをたたえ合い、試しながら少しずつ調整しながら動いていくと、豊かな未来につながっていくのではないかと考えています。

森山…この100プロジェクトのベースには「二人ひとりが持っている世界観を実現しよう」という思いがあります。このコロナ禍でも、チャレンジし続けている企業が七尾にもたくさんあり、そんな企業は自分たちの世界観をしっかりと打ち出しています。みんなそれぞれ違っていて良い、その多様性を認め合い、総力戦で七尾を盛り上げていくことが、明るい地域の未来につながっていくと思います。

木下…七尾は人口でいうと小さなまちです。かつて歴史的に素晴らしい時代があり、流れの中で現在を見ても、今後のまちの継続のために、時代に合った考え方や動きが必要なのだと感じます。若者が戻ってくるには、高付加価値を持つには、健やかな地域社会を作るには、たくさんの方の抱えながらも実践していく「やってみる」という姿勢が大切です。仲間を見つけて、あなたのビジョンをまわりのビジョンに、みんなが少しずつ豊かな未来を描き出していきたいと思います。

interview & writing

小山 百代



七尾商工会議所には、みなさんの事業に関連するたくさんの情報があります。弊所は、昨年から続くコロナ禍においても助成金・補助金申請などの事業者支援を積極的に行ってまいりました。情報が掲載された新聞やパンフレット資料だけではなかなか理解しきれない活動内容について、会員の皆さまに、知ることと興味を持ち、上手にご利用していただくため、様々な切り口で商工会議所活動を紹介していこう！というのが今回の企画です。

さまざまな事業支援があるため「どこに相談したらよいのか分からない」と迷うこともあると思います。私たちの仕事は、会員ニーズを知り、それぞれの事業ケースに合わせた支援を紹介し提供することです。そんな時には、まず七尾商工会議所にご相談ください。

商工会議所について

商工会議所は、法律に基づき運営されている特別認可法人で、日本の企業と地域を元気にしたいと願う民意から生まれ、全国に515会議所が存在する地域で唯一の総合経済団体です。行っている事業は幅広く、地域振興、経営支援事業はもとより、観光振興、ビジネス交流、伝統的なお祭りやイベントにも携わり、民間企業のメンバースhipと産学官連携活動により、地域社会に貢献するなど、商工会議所は、日本各地で「企業と地域の応援団」の役割を担っています。

◆木下 徳泰

七尾商工会議所 七尾の未来構想委員会 委員長
(株)丸一観光 代表取締役

日本商工会議所青年部副会長ほか、全国、北陸、石川、能登七尾など多地域において経済・地域活性に関わる要職を歴任。地域内外を問わず若手をつなぐ橋渡し役としても尽力し、七尾の未来に力強くコミットする。

◆森山 奈美

七尾商工会議所 七尾の未来構想委員会 委員
(株)御蔵川 代表取締役
石川地域づくり協会 コーディネーター

横浜国立大学工学部で都市計画を専攻。卒業後、七尾のまちづくりに取り組む。現在、地方都市が抱える課題解決の第一人者として全国的に活躍し、能登を元気にする発信を行い「小さな世界都市・七尾」の実現を目指している。

◆吉田 翔

七尾商工会議所 七尾の未来構想委員会 委員
(株)ANYNEST エニネスト 代表取締役
(株)創生ななお 役員

イタリア留学、東京でのブランド立ち上げを経て、能登の様々な商品開発に携わる。現在は、アートディレクターとして能登七尾の魅力を引き出し世界へとつなぐ事業を展開し、高い視座と柔軟な発想力で七尾の未来を探索する。

●お問い合わせ

七尾商工会議所

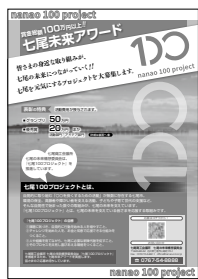
〒926-8642 七尾市三島町70番地の1
TEL:54-8888 FAX:54-8811
URL:https://www.nanao-cci.or.jp

《みんなに伝えたい七尾商工会議所のいろいろ》

■「七尾100プロジェクト」大募集！

【お知らせ】

七尾を元気にするプロジェクトを募集します。身近な取り組みが、七尾市の未来につながる



がつていく!!皆さまのご応募をお待ちしております。

※募集要項・応募資格・応募方法・募集期間につきましては、同封のチラシ裏面をご覧ください。なお、このプロジェクトには「七尾未来アワード」が創設され、優れた活動に対し総額100万円の授与が行われますので、併せてご確認ください。また、このプロジェクトにご賛同いただける企業、団体、個人も共に募集いたします。

〓木下委員長メッセージ〓

この「七尾100プロジェクト」は、私が委員長を務める「七尾の未来構想委員会」が企画しました。100には「たくさん(沢山)」という意味が込められています。現在、七尾にはたくさんの方の地域活動があり、それぞれが目的を持って地元を盛り上げるため頑張っています。その中で、同じ地域に住みな

から「どんな活動をしているのか分からない」そんな話をよく耳にします。あまり知られていない活動に光を当て、お互いを知り横につながることが、これからの七尾の元氣な未来につながると思います。七尾は小さな都市ですが、とても住みやすい豊かなまちです。その七尾の良さを、地元の人にはもちろん、全国、世界の人たちにもっと知っていただく仕掛けが必要だと思っています。日々この地域で行われるさまざまなチャレンジが七尾を動かし、自分たちの力で少しずつ七尾の未来を描き出していくというこの取組み。このプロジェクトにご賛同をいただける企業、団体、個人の皆さまには、七尾を元気にする「七尾100プロジェクト」に、ぜひエントリーをよろしく願っています。

■「七尾100プロジェクト」座談会

〓100プロジェクトの意義〓

木下：今、七尾を盛り上げている祭りや地域活動が消滅してしまったら「このまちは、元氣のないまちになるよな」そんな話から、この「七尾を元気にする100プロジェクト」が生まりました。

森山：私たちの暮らしの中で行われている活動はたくさんあって、ちょっとしたチャレンジはいつでもどこでも起こっています。活動100プロジェクトです。

吉田：七尾を元気にしていこうとしている既存のいろいろなプロジェクトがある中で、うまく知られていなかった存在や活動に光が当たり、同じ方向で七尾の発展を目指しているプロジェクトが横につながり合うことで豊かになっていく、そう考えたのがきっかけです。森山：プロジェクトといっても、規模は大小さまざまありますよね。例えば、七尾の大プロジェクトとして「モントレージャズフェスティバル」は、長くやってきて関わる人も多く、動くお金も大きい。それは急に大きくなったわけではなく、みんなの思いが集まり育ってきた結果だと思っんです。その一方で、個人的な「ダイエット」ということも、小プロジェクトですが、七尾に健康な人が一人増え、医療費負担が減ることにつながっていく。また、近所の一人暮らしの高齢者をみんなで見守っている中プロジェクトもある。

一人ひとりが地域と関わる活動をしていると、感じるのが大事ななだと思います。普段「これが私たちのプロジェクトです」と声高に言わないけれど、そういう風に地域と係わりながら暮らしている人が七尾にはたくさんいて、その人たちによって地域の未来が明る

くなっていく、そんな方向性を作れたら良いなと思っています。

木下：祭りも一つのプロジェクトだと思う。祭りの大小はあるけれど、昔ながらの獅子舞も人がいなければ開催できず、できなければ祭りに人は集まらず、その地域に元氣がなくなっていく。人が住んでいる、集まることで明るい地域の未来につながるっていいんだろ。吉田：僕はウェブデザインとロゴマークの設計をさせていただきました。100という象徴的な数字を実行していくぞ、豊かな未来に向かって進んでいくぞ、そういう意味合いを込めて「DOO(実行)」の形をフォルムとして、重ねていたただけるようなマークを考えました。

森山：たくさんの方々が「主体」となって実行している、私たちに見えていないプロ



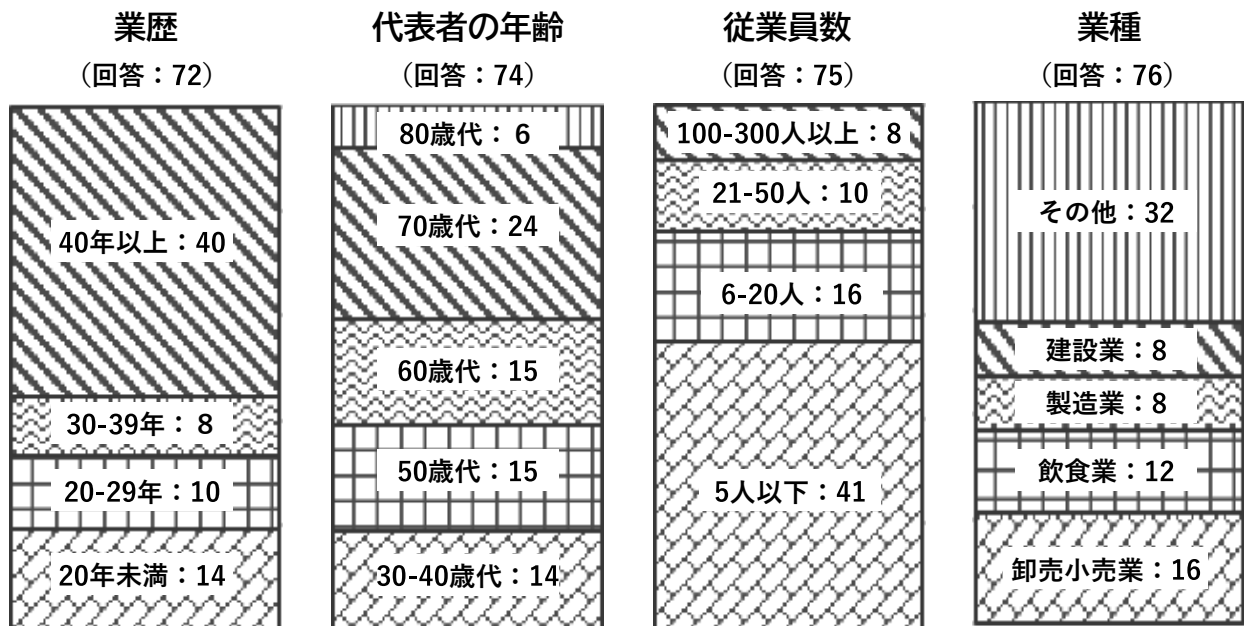
吉田 翔さん

事業承継アンケート調査（記名式）結果 サマリ

今回のアンケートは、廃業問題の実態を調査すべく、七尾商工会議所に所属するすべての事業所にアンケート票を送付し、実施しました。（有効回答数：90事業所）

アンケート調査にご協力頂いた会員の皆様への調査結果の最終報告は、この会報10月号において、下記のサマリ(概要・要約)の掲載による公表にて替えさせていただきます。

【回答者】90事業所の属性



【業歴】半数以上が、業歴40年を超える。

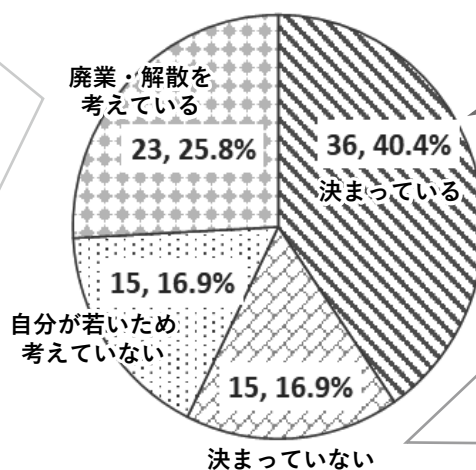
【代表者】70歳代以上が、4割を超える。60歳代以上になると6割を超える。

【従業員数】5人以下が、半数を超える。20人以下までの事業所が全体の3/4以上。

【業種】多い順に、卸売小売業、飲食業。3番目が、建設業、製造業。

ポイント① 後継者の有無について

- ・ 廃業・解散を考えている事業所は、すべて従業員数5人以下。小さい事業所ほど、倒産廃業を選択
- ・ 廃業・解散する理由の約6割は、「後継者がいない or 事業の将来性がない」
- ・ 事業と事業用資産の売却について、「売ってもよい」「売れるかわからない」の回答が約4割を占める



- ・ 既に後継者が決定している場合、その後継者は、子供が8割弱で社外人材はゼロ
- ・ 事業承継を予定検討（「後継者が決まっている＋まだ決まっていない」を選択）した人のうち、後継者が既に仕事に従事しているのは、6割弱
- ・ 社外の第三者承継を検討しているのは、5%未満



ポイント② 後継者の有無と4つ属性について

【業歴】業歴が20年までは、代表者が若いもしくは、最初から自分の代で廃業を決めており、事業所承継の検討には入らない。業歴30年を目途に事業承継の検討を勧めることが必要ではないか。

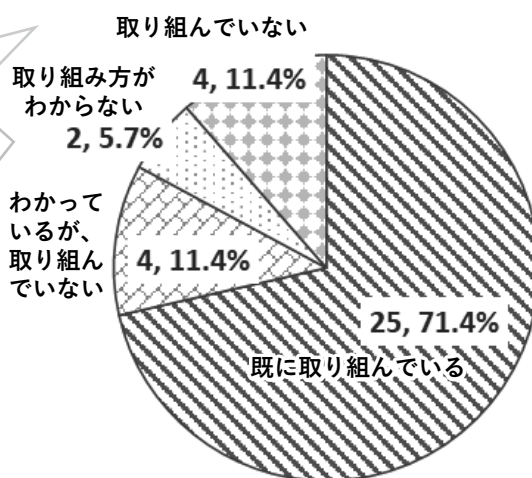
【代表者】代表者が70歳代であっても、まだ後継者が決定していない事業所もある。60歳代になると「まだ事業承継を考えていない」と回答する層がほぼいないので、後継者か廃業・解散か道筋をつける支援も必要だと思われる。

【従業員数】廃業・解散を選択している事業者は、すべて5人以下である。反対に従業員数100人以上の事業所は、すべて後継者が決まっているか、まだ自分が若いだけ考えていないと回答。

【業種】飲食業で、廃業・解散を選択している事業者は多い。反対に宿泊業、製造業、建設業では、廃業・解散を選択している事業者は少なく、事業規模(従業員数)の関係性がある。

ポイント③ 事業承継の取り組みについて

- 後継者が、「子供や配偶者以外の親族+親族以外の役員・社員」の場合、「取り組み方がわからない+取り組んでいない」割合が2/3となり、後継者との関係性が遠いほど、事業承継の取り組みが遅れている



- 後継者が、「子供」の場合、既に事業承継に取り組んでいる割合は8割以上
- 事業承継の時期について、3～5年を選択している割合は5割。中期的な視点から早めの事業承継支援が必要

ポイント①②③からの得た学び

- 代表者が70歳代以上の事業所が、4割を超える。事業承継が急がれる。
- 社外の第三者承継を予定検討しているのは5%未満であり、全国的にはスモールM&Aもブームであるが、七尾ではまだ広がっていない。
- 廃業・解散を検討しているのは、すべて従業員5人未満の事業所であり、小さな事業所への支援が必要。また、事業や事業用資産の売却の可能性には、約4割が選択肢を持っていることから、廃業支援も含め対応する必要性がある。
- 後継者が決まっている場合においても、後継者が直系以外の親族や親族以外の役員・社員の場合、事業承継の取り組みが遅れていることから、何らかの支援が必要。
- 事業承継の時期は、事業承継に取り組んでいる層では、3～5年を選択している割合が半数であることから、中期的な視点から計画的な事業承継支援が必要。

ななお 事業承継 相談所

七尾商工会議所／ななお経営支援センターは、事業承継に関する様々な支援を行う「ななお事業承継相談所」を開設しています。

石川県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、適当な後継者候補がいけない場合には、経営資源を引き継ぐ意欲のある第三者に事業を譲り、存続させるお手伝いについて専門家が相談対応しています。

事業の承継・引継ぎなど、事業の先行きに不安や課題等を抱えていたら、まずはお電話ください。

安心して業務に従事出来るよう新型コロナワクチン 職域接種開始

当所での新型コロナワクチン職域接種の第1回目の接種が和倉温泉お祭り会館にて9月18日(土)から始まった。

当所の会員事業所、能登鹿北商工会の会員事業所に案内を出し、204事業所の役員及び社員、同居家族が接種を受ける。

大林重治会頭は「接種者には和倉温泉の旅館従業員の方も多く、安心安全な観光地づくりに貢献し、安心してお客さんに来てもらいたい」と話した。

接種は恵寿総合病院が担い、モデルナ社製のワクチンを使用し、10月30日(土)までの土日で行われる。

ホームページ作成セミナーを開催 誰でも簡単、無料でつくるあなただけのホームページ

七尾商工会議所・ななお経営支援センターは9月24日(金)、石川県よろず支援拠点の守部和孝コーディネーターを講師に招き、「誰でも簡単、無料でつくるあなただけのホームページ」セミナーを開催した。

本セミナーでは、ホームページをすぐに作成したい、気軽に作成したい、ホームページを作りたいがどのように作れば良いのかを知りたいという方のためのセミナーとして開催され、会員3名が参加された。

セミナーではWixというツールを活用し、ホームページを制作された。WixはAI機能が実装されており、はじめての方でもいくつかの質問に答えるだけ10分ほどでホームページが作られる。参加者の方のひとり「すぐにできて驚いた。デザインもスマート。」と声をあげていた。

守部講師は、企業がホームページをひとつだけもつという時代ではない。戦略によってはホームページを複数持つ必要がある。また管理がしやすいものを使うことは必須。自分で管理ができ、デザインとして優れたものを活用するきっかけになってもらいたいと解説した。



七尾市を ふるさと納税で応援しよう

七尾市 ふるさと納税 サイト



七尾市特設サイト



楽天ふるさと納税



さとふる



ふるぽ



ふるさとチョイス



令和3年度七尾商工会議所会員大会のご案内

七尾商工会議所では、これまでの功績を称えるとともに業務に対する動機付けや勤労意欲向上の機会にさせていただくことを願い、毎年、会員大会において「永年勤続優良従業員表彰」を実施しております。本年も下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

また、表彰式終了後に特別講演会も開催いたしますので併せてご案内申し上げます。

【日 時】 令和3年11月18日(木) 14:00~16:30

【場 所】 石川県七尾美術館 アートホール

■表 彰 式 14:00~

■特別講演会 15:15~16:30 [講師] NHK金沢放送局 局長 小原 美和 氏

お問い合わせ先 七尾商工会議所 総務課 TEL 0767-54-8888

年会費口座振替のご案内

11月18日(木)に皆様のご指定口座より年会費を口座振替させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、お振込みの方は、請求書をご送付させていただきますので、お手続き方よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先

七尾商工会議所 総務課 TEL 0767-54-8888

石川県最低賃金

令和3年

10月7日から **861円**

28円
UP↑

※最低賃金制度って何？

働くすべての人に賃金の最低額（最低賃金額）を保障する制度です。

年齢やパート・学生アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、すべての労働者に適用されるんです。

最低賃金に関するお問い合わせは
石川労働局または最寄りの労働基準監督署へ
石川労働局ホームページアドレス
<https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/>

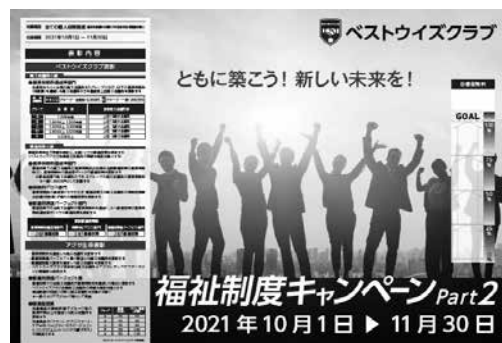
『商工会議所福祉制度キャンペーン』実施のお知らせ

ベストウイズクラブでは、「福祉制度キャンペーン」を10/1~11/30に実施いたします。本キャンペーンは、『商工会議所福祉制度』を会員の皆様にご理解いただき、会員事業所の福祉向上にお役立ていただくことを主な目的としています。

『商工会議所福祉制度』は、経営者・役員の皆様の保障や退職金準備他、入院・介護・老後に備えた様々な保障ニーズにお応えするものです。

商工会議所職員とアクサ生命保険株式会社の担当社員がお伺いした際には、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

※「ベストウイズクラブ」は、商工会議所共済制度・福祉制度の普及・推進を目的とし全国各地の商工会議所およびアクサ生命保険株式会社により運営されている組織です。



お問い合わせ先

七尾商工会議所 総務課
TEL 0767-54-8888



渋沢栄一と

その思想に学ぶ



渋沢栄一と熟議

渋沢栄一と、三菱財閥の創業者である岩崎弥太郎は明治の実業界を代表する二人ですが、面白いことに、その考え方は真逆でした。

1878年、岩崎弥太郎が、渋沢栄一を屋形船に誘ったことがあります。以下は栄一の述懐です。

「あるとき岩崎弥太郎氏から、『お目にかかりたい、舟遊びの用意がしてあるから』

と言ってきた。私は増田屋に行っており、すぐには行かないでいると、たびたび使いを寄こすので、岩崎のいる柏屋へ行くと、芸者を14、5人も呼んでいる。

二人で舟を出し、網打ちなどをしたところ、岩崎氏は、『実は少し話したいことがあるのだが、これからの実業はどうしたらよいだろうか』

と言うので、私は、『当然合本法でやらなければならない。今のようではいけない』

と言った。それに対して岩崎は、『合本法は成立せぬ。もう少し専制主義で、個人でやる必要がある』と唱え、大枠のところ、『合本法がよい』『いや合本法は悪い』と論じ合い、はては結末がつかぬので、私は芸者を伴って引き上げた」

「雨夜譚会談話筆記」引用者記
栄一の述べた「合本法」とは、

① 何か事業を起こすに当って、必要な人材やお金をまず集める。

② 集まった人々が話し合いによって事業を営み、成果が出たなら、その利益をみなで分かちあって人も国も豊かにしていくというやり方をいいます。

一方の岩崎弥太郎は、それでは船頭多くして船山に登るで、何も決まらない。一人が独裁で決めるべきだと考えていました。

ともに一長一短ある考え方ですが、栄一は、確かに自分の信ずるやり方で企業を経営し続けたのです。

実際、こんな事件がありました。

ある会社で不祥事が起こり、社長が病気と称して株主総会の席から突然、退場してしまったことがあります。場内は当然総荒れです。

栄一は、そこで議長を引き受け、数時間かけて利害関係者の意見をすべて聞き、議論を尽くして、全員を納得させてその場を収めました。

この徹底的な話し合いによって物事を決めていくのを「熟議」といったりします。栄一はこの「熟議」の力で、衆知を集め、その成果を社会に還元していったのです。

作家・グロービス経営大学院客員教授 ^{もりや あつし} 守屋 淳



プロフィール

1965年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。現在は作家として『孫子』『論語』『韓非子』『老子』『莊子』などの中国古典や、渋沢栄一などの近代の実業家についての著作を刊行するかたわら、グロービス経営大学院アルumnナイスカールにおいて教鞭をとる。著書に34万部の『現代語訳 論語と算盤』や『現代語訳 渋沢栄一自伝』、シリーズで20万部の『最高の戦略教科書 孫子』『マンガ 最高の戦略教科書 孫子』『組織サバイバルの教科書 韓非子』などがある。2018年4～9月トロント大学倫理研究センター客員研究員。

行事カレンダー

2021

10月 October

16(土)	ななおSDGsコンソーシアム設立式 職域接種
17(日)	職域接種
18(月)	
19(火)	生産性向上支援訓練 七尾の未来構想委員会
20(水)	
21(木)	
22(金)	全国商工会議所女性会連合会第53回オンライン総会 令和3年度北陸信越ブロック商工会議所 中小企業相談所長会議
23(土)	「のと・七尾共創塾」開講 職域接種
24(日)	職域接種
25(月)	令和3年度第2回常議員会
26(火)	令和3年度県内商工会議所会頭・副会頭会議
27(水)	「能登SDGs市民大学」入学式・第一回講座
28(木)	ななお創業応援カルテット連絡会議
29(金)	
30(土)	職域接種
31(日)	

11月 November

1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	
7(日)	香りの記念日イベント「香りのガーランド教室」
8(月)	能登空港ターミナルビル(株) 第3回取締役会 「のと・七尾共創塾」第2回
9(火)	石川県商工会議所青年部連合会役員会・研修事業
10(水)	
11(木)	地区別金融円滑化懇談会(能登地区・南部)
12(金)	
13(土)	「のと・七尾共創塾」第3回
14(日)	
15(月)	